

製品名: KLHL3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13069**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	KLHL3
別名	KLHL3; KIAA1129; Kelch-like protein 3
遺伝子 ID	26249.0
SwissProt ID	Q9UH77
免疫原	抗血清はヒト KLHL3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

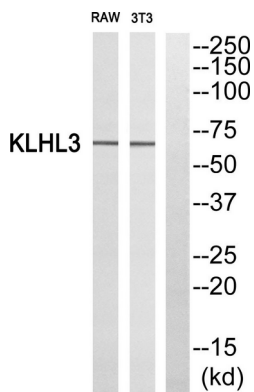
背景

この遺伝子は普遍的に発現しており、N末端に BTB ドメイン、続いて BACK ドメイン、そして C末端に6つのケルチ様リピート配列を持つ全長タンパク質をコードしています。これらのケルチ様リピート配列は、BTB ドメインと Cullin-RING E3 ユビキチンリガーゼ

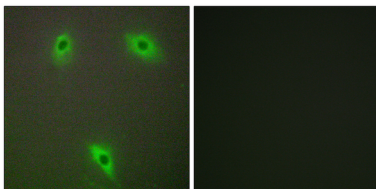
(CRL) 複合体の CUL3 (Cullin 3) 構成要素との相互作用を介して、結合タンパク質の基質ユビキチン化を促進します。この遺伝子の変異は、高血圧、高カリウム血症、代謝性アシドーシスを特徴とするまれなメンデル遺伝性症候群である偽性低アルドステロン症 IID 型 (PHA2D) を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012 年 3 月]機能: 標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質特異的アダプターと考えられる。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 1つの BTB (POZ) ドメインを含む。類似性: 6つのケルチン反復配列を含む。サブユニット: cul3 と相互作用する。組織特異性: 様々な組織で発現していると思われる。

研究分野

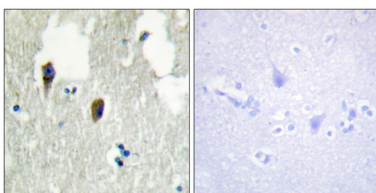
画像データ



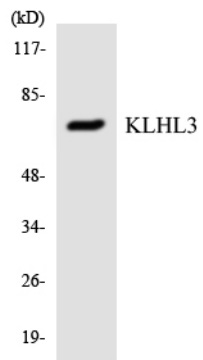
KLHL3 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには KLHL3 ペプチドでブロッキングされている。



KLHL3 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



KLHL3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



KLHL3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。